

令和元年度 第2回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和元年8月28日（水） 14時00分～15時00分

開催場所：備前市市民センター 2階講座室

出席委員：田原 隆雄【備前市長】
今脇 誠司【備前市市民生活部長】
久保 聡志【西日本旅客鉄道（株）】
小野 一嘉【県タクシー協会和気支部】
松下 重光【(株)インベタクシー】
川平 章【備前市自治会連絡協議会】
金本 伸一【備前市自治会連絡協議会】
中磯 潤一【備前市自治会連絡協議会】
三宅 陽【備前市老人クラブ連合会】
松本 和好【備前市老人クラブ連合会】
杉山 玄意【備前市老人クラブ連合会】
大東 正虎【岡山商科大学経営学部経営学科 教授】
石田 剛史【中国運輸局岡山運輸支局】
古家野 泰弘【備前警察署】
青砥 良定【瀬戸内市総合政策部企画振興課】
新田 憲一【和気町総務部危機管理室くらし安全係】
出席 16名、委任状提出 6名

事務局：市民生活部市民協働課
杉田（課長）、森本（係長）、千田

1. 開会

2. 会長あいさつ（及び委員紹介）

会 長：

日頃は市政ならびに備前市内の公共交通につきまして、それぞれの立場でご協力頂きあ

りがとうございます。また、本日はお忙しい中、ご出席頂き重ねてお礼申し上げます。市民の皆様には喜ばれる公共交通を目指して頑張っていきたいと思っておりますが、一方で、市営バスは空バスの運行が目立っており、利便性だけではなく効率性についても検討し、見直しを行う時期にあります。ともあれ、本日はダイヤ改正等を提案させて頂いておりますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

事務局：

続きまして、出席者をご紹介します。お手元に委員名簿を配布しておりますので、ご覧ください。前回の公共交通会議以降に行われました自治会連絡協議会の役員改選により、新たにご就任頂いた方をご紹介します。まず、自治会連絡協議会会長・川平章さんです。恐れ入りますが、一言自己紹介をお願いいたします。

川平委員：

自治会連絡協議会会長を仰せつかっております。初めての公共交通会議でございますので、どうかひとつよろしく願いいたします。

事務局：

続いて、同じく自治会連絡協議会副会長の中磯潤一さんでございます。

中磯委員：

自治会連絡協議会副会長の中磯と申します。初めての委員ですが今後ともよろしく願いいたします。

事務局：

ありがとうございました。同じく自治会連絡協議会副会長の柴田誠さんですが、本日は欠席の連絡を頂いております。続いて、備前市老人クラブ連合会副会長の杉山玄意さんでございます。

杉山委員：

杉山です。吉永地区から来ておりますので、よろしく願いします。

事務局：

ありがとうございました。最後に私は、事務局として本日の進行役を務める市民協働課長の杉田でございます。よろしく願いいたします。

なお、本日の出席委員は16名で、表決委任状6通、要綱第5条の規定により過半数を超えておりますので、この会議が成立していることを報告いたします。

3. 協議事項

(1) 新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について

－事務局からの説明（資料① P1～P20）－

前回の公共交通会議でご説明しましたように、日生線の路線延長に伴い、新たに新規バス停として、「スワ住宅前バス停」「日生幼稚園前バス停」の2箇所を設置することとしております。

次に、日生線の平日及び土日祝日の運行ダイヤ案では、スワ住宅前バス停と日生幼稚園前バス停を設置することに伴い、運行ダイヤを改正いたします。また、平日の運行ダイヤにつきましては、回送を実車に当て、片上発13:30と福浦発14:20をそれぞれ1便増加し、利便性を高めております。

寒河蕃山伊里線のダイヤ改正案では、バス停間の調整の他、資料9頁にありますように平日（月曜・火曜）運行ダイヤの回送を実車に当て、佐那高下発15:10を1便増便します。

福石線のダイヤ改正案では、利用者からの「吉永病院発11:40では移動しづらい」との意見から、吉永病院発10:30分と福石上発11:10をそれぞれ1便増便することで、利便性を高めていきたいと考えております。

三石線から三国・和意谷線のダイヤ改正案でございますが、こちらは一括して説明いたします。こちらの各路線につきましては、基幹路線である日生線の改正に伴い、運行ダイヤに調整を加えたほか、バス停間の時刻調整を行っております。

以上、簡単ではございますが、新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について説明を終わります。なお、それぞれ10月1日から改正したいと考えております。説明は以上です。

会 長：新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について、意見や質問はありませんか。

委 員：各路線の改正前と改正後を見ると、時間が変わっている所がありますが、これは鉄道との接続を勘案したものでですか。

事務局：今回は大体5分や10分の単位で時間を調整しております。もちろん鉄道だけではなく、その他の市営バス路線や民間路線バス（宇野バス）との接続についても考慮して調整しております。

委 員：私は日生地区の住民です。幼稚園前に1つバス停を設置する予定ですが、体育館と幼稚園との中間に設置してもらうことはできませんか。体育館から近いため、幼稚園の入口よりは、体育館との間くらいが良いのではないかなと思いました。

事務局：体育館の前にもバス停はあります。体育館と幼稚園の間はバス停の間隔が近い
ため、資料でお示しした幼稚園前でのバス停設置を進めたいと考えております。

委員：費用が掛かることですが、バス停にスイッチを設置し、押すとバスに伝わって、
乗客がいることが分かるような仕組みを作れないでしょうか。運行時間の問題も
あるかとは思いますが、便数を増やして利用者がいない場所ではなく、確実に利
用者がいる場所へ行く運行ができないでしょうか。

会長：停留所を増やして、運転者から利用者がいることが分かる仕組みを考えるという
意味ですか。

委員：そうです。例えば、森下美術館の周辺はバスが運行していないため支所まで行か
なければなりません。バス停とスイッチを作れば、支所まで行かなくても近い
場所で乗れるのではないかなと思うのです。いかがでしょうか。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。現在の市営バスは定時低路線のバスとして
運行しているため、定時定発が大原則になってきます。今おっしゃったように、
住宅街の中の道に乗り入れてほしいというご意見を頂いておりますが、定時定路
線での運行を考えると、非常に難しい部分があると感じています。岡山市では、「め
ぐりん」という循環型のバスも運行しておりますが、備前市で運行させる場合は、
250号線を運行する市営バスを幹線として、周辺の地域の交通を支線で補っていく
ような形がイメージとして考えられます。ただ日生に限らず、他地区でもそのよ
うなご意見を頂いており、ルートやバスの大きさも関係しますが、その辺りも含
めて利便性の高い移動手段を考えていきたいと思っております。

委員：1頁の図面を見てバス停が2つ新たにできていますが、そこまで行くことが大変で
す。体育館の所と幼稚園の所へバス停を設置されることは、確かにありがたいで
すが、もう少しスワ団地や深谷地区の入口付近までバスが来てもらえれば、利用
される方にとっては都合が良いので、更に踏み込んで検討してもらいたいと思
います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。今後はバスの乗務員が直接利用者から様々
なご意見をお伺いすることが多いと思いますので、頂いた意見や利用の状況を参
考にして、必要に応じて改善できればと考えています。

委員：分かりました。どの程度利用されるかがポイントになると思いますので、検証を
お願いします。

会 長：会長という立場から感想を申し上げます。冒頭挨拶の中でお話いたしました、要望に応じてバス停を作っても、利用される方がおらず空バスで運行しているような状況が見受けられます。そのような中で、年間 1 億数千万円の費用を使ってバスを運行しています。それならば、先程のご意見であったように、病院のバスのような色々な所へ行って、利用される方がいる地域に乗り入れることも方法ではないかとは思いますが。一方で、定時低路線型のバスも必要だと思いますので、抜本的な見直しをする時期ではないかと冒頭挨拶で申しました。市では民間路線バス（宇野バス）等の運行もしておりますので、様々な条件も含めて検討してもらいたいと感じております。

委 員：定時での運行が基本にあるため、小さな路地まで入っていけないのであれば、定時低路線型のバスと細かく地域を回るようなバスとセットにして運行できないですか。

事務局：できるかできないかということになると、できる可能性が高いと思います。一方で数年前に瀬戸内市で、当時の長船町のバスと備前バスが住宅街の路地まで乗り入れる試験運行を行ったことがあり、細かい場所を経由するため最終的に目的地に着くまで時間が掛かり、お客様から「普通に行けば 10 分で行ける病院や買物が、なぜ 1 時間も掛かるのか」というご意見を非常に多く頂きました。当時は運行するルートに問題があった可能性もあるため、現在の状況に当てはまらないかもしれませんが、デマンド型の交通に関する話を聞いたところ、やはり時間が掛かることが多いです。そのため、主要幹線である路線バスとの接続が課題になるのではないかと考えています。

会 長：今回の提案は、今まで市民から要望があったものを追加したものです。他に意見が無ければ、承認して頂けますか。

<承認>

(2) 自家用有償旅客運送の更新登録申請について

－事務局からの説明（資料② P21～P29）－

本年度 9 月末に自家用有償旅客運送の登録期間が満了することから、新たに更新の申請が必要となります。これは道路運送法第 79 条の 6 及び同法施行規則第 51 条の 10 の規定に基づき申請するもので、更新登録申請にあたっては地域公共交通会議の合意が必要なこと

から、今回備前市公共交通会議で皆様にご承認頂きたいと考えております。なお、登録期間は令和元年10月1日から3年間です。

24 頁からは同じく瀬戸内市営バスの更新登録申請についてですが、お隣の瀬戸内市についても備前市同様、市町村による自家用有償旅客運送で運行しております。そのうちの美和線が備前市の新庄地区へ乗り入れていますので、自家用有償旅客運送の更新登録の申請につきましても、関係する地域公共交通会議の合意が必要なことから、今回備前市公共交通会議で皆様にご承認頂きたい議案としております。

併せまして27 頁からは和気町営バスの更新登録申請についてです。お隣の和気町につきましても備前市同様、市町村による自家用有償旅客運送で運行しております。そのうちの片上和気線が備前市と共同運行をしておりますので、自家用有償旅客運送の更新登録の申請につきましても、関係する地域公共交通会議の合意が必要なことから、今回備前市公共交通会議で皆様にご承認頂く必要がございます。

会 長：只今の説明につきまして、ご質問やご意見がありましたらお願いします。特に意見が無ければ、承認でよろしいでしょうか。

<承認>

4. 報告事項

平成30年度市営バス利用実績について（資料③ P30）

事務局：

平成30年度市営バスの利用実績についてご説明します。まず概要についてご説明します。令和元年度7月1日現在、車両9台、ワンボックスタイプの普通乗用車9台の計18台を使用しています。直営4路線、委託7路線の市内11路線を運行しております。

上の表の3年度分の比較につきましては、過去3年度分の利用実績についてまとめております。利用者につきましては、新規路線の設置やタクシーチケットを市営バスにも使用可能としたことが影響あるものと推察されますが、平成28年度87,119人、平成29年度93,001人、平成30年度99,173人と毎年増加傾向にあります。

下の表につきましては、今年と昨年の6月末時点での比較についてまとめてあります。6月末時点ではありますが、平成30年度は25,761人、令和元年度は25,667人と昨年とほぼ同程度の利用者数で推移しております。今後も利用者の増加に努めて参りたいと考えております。

会 長：只今の報告事項につきまして、ご意見がありましたらお伺いします。

今年の4月から片上和気線の運行を開始いたしました。和気線の状況について説

明をお願いします。

事務局：片上和気線につきましては、1乗車200円の料金で平日の月曜から金曜日に運行し、1便と4便は備前市、2便と3便は和気町が運行しています。利用状況につきましては、資料3の30頁に記載されているとおり、4月の1便4便の備前市運行便は202人、2便3便の和気町運行便は145人の利用が見られました。その後、5月は備前市運行便が224人で和気町運行便が135人、6月は備前市運行便が232人で和気町運行便152人と推移しており、3か月合わせておよそ1,000人程度の利用が見られました。

会長：和気町と共同運営の形をとっている路線で、高校生の通学利用を想定してスタートしましたが、当初の想定以上に利用されております。この公共交通会議は規定による会議で、形式に則って進める会議だと思いますが、それぞれの立場で色々な検討課題というものを提案頂ければ、事務局で精査して皆様と意見交換する形を取っていきたいと思います。他に何かご意見がありましたらお伺いします。

委員：岡山運輸支局です。資料をお配りしているので、ご紹介させていただければと思います。会長からもお話があったのですが、この公共交通会議は関係者の方々が集まって、地域のより良い交通を考えていくため、様々な立場の方が集まって議論する場になります。例えば、資料の3頁から5頁に、新たに委員になられた方はどういう発言をしたら良いのかという例を挙げております。事務局には、委員の方の交代があった場合等で、この資料を活用頂ければと思います。もう1点、前回会議の中で、公共交通網形成計画の策定の検討を進めるという話があったかと思いますが、現時点で進捗状況やスケジュール等この場で報告できる部分があれば、教えて頂きたいです。

事務局：前回の第1回公共交通会議からの進捗状況ですが、その後7月25日に第1回の分科会を開催し、公共交通網形成計画策定のスケジュールや進め方の内容について検討をさせて頂いた次第です。

委員：最終的にはこの本会議の中で報告をしながら、意見を受けながら進めていくと思いますので、今後も引き続き情報等を教えて頂ければと思います。

会長：他にはございませんか。

委員：新たに設けられた片上和気線ですが、備前から和気へ行く乗客の内訳はどうなっているのでしょうか。学生が1番多いという話がありますが、学生がどの程度利

用しており、一般の利用者はどのような目的で利用しているのか教えてもらいたいです。仮に、買物目的で和気町へ行くのであれば、備前市よりも和気町に買物の需要があるということなので、市内で買物をしてもらえる施策を考えていかなければならないと思いました。

事務局：乗降調査によると、備前市が運行している1便と4便については、片上で乗って和気駅で降りる方は、市外への通学や通勤で利用されている方が多いですが、和気駅以外のバス停で降りられる方もいるため、買物や通院目的で利用されている方も一定数おられます。

会長：和気高校や備前緑陽高校の生徒の中には、山陽方面や日生方面から通学している人も多く、学校からお礼を頂きました。

事務局：通院目的では、武田整形外科を受診されている方も多と思いますし、ハピーズで買物に行かれる方も利用されています。

委員：タクシー協会和気支部の立場から、2点話をさせてください。1点は片上和気線についてです。当社に限った話ですが、武田整形にタクシーで行かれる方が減り、1日あたり2、3千円の減収になっています。わずかな金額ですが、私共には辛い状況です。もう1点は当社に限らず、備前市内のタクシー会社全てに言えることですが、タクシーを利用したい時間帯が10時台から13時台に集中し、車両が足りない状態です。また、無理に増車すると、13時台以降の時間帯は需要が無いため、運転者の時給が最低賃金を下回ってしまいます。本来であれば、我々事業者の費用で賄うことが良いのですが、その余裕は無いため、お急ぎでない方は10時から13時の間ではない時間にタクシーを利用してもらおうと需要が分散し、市内のタクシー会社全てが助かると思います。

会長：タクシーの利用時間に課題があるということですが、公共交通やタクシーは、一般の市民の足としてだけでなく、移動が困難な人の足という目的があり、公共交通とタクシーの連携を上手く取ってもらいたいと思います。

委員：日生線の利用者が市営バス利用者の半分近くを占めている状況を見て、定時低路線型のバスと、先程話にありました細かい地域をカバーするバス（移動手段）との関係等を今後の課題として検討する必要があるのではないかと思います。現状の市営バスは利用者が少なくともバスを運行させなければならないため、空バスで運行している状況もあり、今後は利用状況を分析して、市の財政を圧迫しない方法でより地域の人達が満足する最大公約数を検討して頂きたいと思います。

会 長：バスの運行について、強く意見を出される方がいますが、それが地域全体の声ではない可能性もあるため、地域で話し合っただけで要望を出してほしいと思います。自治会内でまた話し合う機会があるかと思いますが、その際はどうかよろしくお願いいたします。

他にございませんか。無ければ終わらせて頂きます。ありがとうございました。

事務局：閉会にあたりまして、備前市公共交通会議副会長の大東正虎先生よりご講評をお願いいたします。

副会長：前回の第 1 回公共交通会議において、交通不便地域をかなりフォローできているということが確認されて、そのうえで利用率をどう上げるかということで課題となっておりました。今日の報告では、少しずつ利用率は上がっており、今回のダイヤ改正やバス停の設置で更に改善を図ることとしております。今後は公共交通網形成計画の策定に向けて、住民意見交換会やヒアリング調査が行うことになっていきますので、その結果を踏まえて本日皆様から頂いたご意見と合わせて、より良い交通体系を検討していくことになるかと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

事務局：それではこれもちまして、令和元年度第 2 回備前市公共交通会議を終了いたします。本日はありがとうございました。

以上